

市長があおる 「競争教育」

教育行政の制度が変わり、市長に教育分野の権限が与えられました。このもとで今年度中に教育大綱を定めるのですが、学力の向上と問題行動の低減が打ち出されました。

11月議会で市長は、全国学力テストを基に数値目標を設定する考えを示しました。具体的には偏差値の目標です。今まで教育委員会は少なくとも順位などの数値を目標にしてきませんでした。市長主導のもと変質させられようとしています。

党市議団は、テスト対策偏重にならないよう、数値を目標にしないことを求めています。学力向上や問題行動の低減を言うなら、競争を煽るのではなく全ての子どもがわかる教育を目指すべきです。



中央小が大変 学校統廃合に猛省を

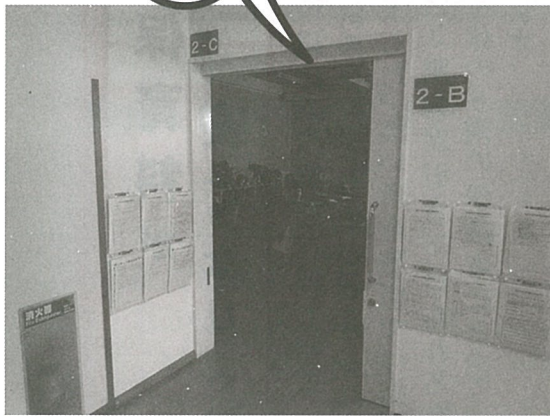
5つの小学校が統合され、2005年に岡山中央小学校が設置されました。減ると言われた児童数が増加し、700人規模の校舎に900人が通う状況が続いています。

特別教室をクラスに転用し(写真)、一人当たりの校庭面積は最小です。

一方で市は、旧深砥小跡地は川崎病院に貸し、後楽館中高跡地は民間に売却する方針で、旧内山下小も用途を決められていません。児童数の推計にも教育財産の活用にも問題があります。

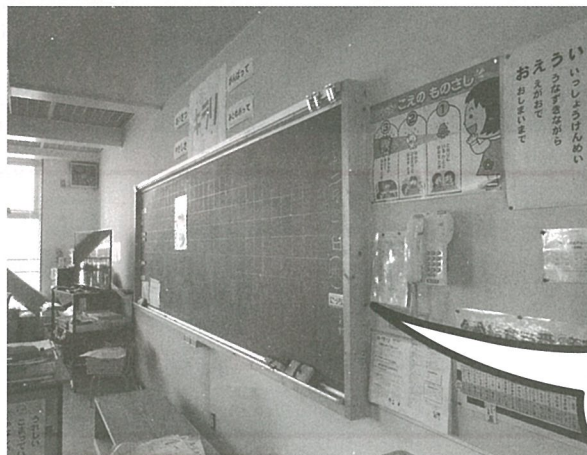
市は見通しの甘い統廃合を厳しく反省し、教育委員会のリーダーシップで教育環境の改善を図るべきです。

図工室を
2つのクラスに転用。
2-Cは2-Bを通らないと
教室の出入りが
できません。



～性的少数者の子どもたちの対応～

教職員向けの
啓発パンフ
ができます!



この扉の反対側が黒板です。
第二理科室を教室にしたので
扉がふさがれました。